

平成21年度第4回 産業応用部門論文委員会主査会議議事録（案）

1. 日時 平成21年10月20日（火）10：00－13：00

2. 場所 電気学会第5会議室

3. 出席者（敬称略）

大石（編修長、長岡技術科学大学）、村上（編修長補佐、慶應大学）、藤崎（D1副主査、新日鐵）、木村（D1次期副主査、大阪工大）、織田（D2主査、パナソニック）、寺田（D2副主査、徳島大学）、松岡（D3主査、東芝）、高瀬（D3副主査、摂南大学）、近藤（ゲストエディタ、千葉大）

4. 提出資料

21-4-0 議題票（藤崎）

21-4-1 前回議事録（案）（藤崎）

21-4-2 産業応用部門論文委員意見交換会フリーディスカッション質疑（村上）

21-4-3 主査会資料（村上）

21-4-3-1 役委員会資料（村上）

21-4-3-2 共通英文誌協議（1）（村上）

21-4-3-3 共通英文誌協議（2）（村上）

21-4-3-4 異議申し立て再検討（村上）

21-4-3-5 論文委員承認（1）（村上）

21-4-3-6 論文委員承認（2）（村上）

21-4-3-7 特集論文手続き再検討（村上）

21-4-4 共通英文誌特集号（D部門担当）（近藤）

21-4-5 2010年3月特集号（モーションコントロール、計測・センサ応用全般）進捗報告（柴田）

21-4-6 LDIA2009論文の電気学会誌への論文投稿についての問い合わせ（事務局）

5. 議事

5.1 前回議事録の確認（資料21-4-1）

- ・議事録については、特に問題なく、承認された。
- ・以下の点を確認した。

・『5.2 新規論文として取り扱って良いか、と著者へ問い合わせた結果、タイトル、アブストラクトを変更し、特集号からも外すことで著者の了解を得た。したがって、IEEEに著作権料を支払う必要が無くなった。』

・『IPEC-2010-Sapporo の著作権について、現在、河村教授（横浜国大）が問い合わせ中。IEEE-Exploreに掲載されると電気学会のウェブサイトと二重の掲載になる。』

5.2 産業応用部門論文委員意見交換会フリーディスカッション質疑（資料21-4-2）

- ・フリーディスカッションで、IEEE 英語論文をそのまま部門誌に投稿可能か？という質問があったが、適切に解答した、と考えている。
- ・査読結果の開示を薦めるとの意見が出された。他の査読者の結果が査読に影響を及ぼすことも有り得る、との指摘があり、長い議論があった。今後検討していく。

5.3 役委員会資料の説明（資料21-3-1）

◎論文投稿と査読状況

- ・論文委員の専門分野の入力を促進して欲しい、との要望があり、事務局での対応を依頼することになった。

- ・ 論文委員の登録を簡単にして欲しい、との要望があり、手続きを簡略化はできないが、編修長の名前で、新規登録手続きを事務局に依頼することとなった。今後、各部門から候補者を編修長に知らせることとする。
- ・ D3 に D1 に相当するような論文が回されてきた。今後は D1 へ回しても良いかとの質問があり、良いという回答であった。
- ・ モータの電磁界解析の論文があったが A 部門に回して良いかとの質問があり、良いという回答であった。

◎論文査読システムWG

- ・ 電子査読システムの全部門 DB 統合の話にともない、これまでのシステム会社（アーセナジー社）から別の会社に変更する話が出ている。
- ・ ワーキンググループがうなるくらいのプラスが必要で、大きなプラスが無ければ、慣れた現行システムの改善に留めるべきである、との意見になった。

5.4 共通英文誌協議（1）（資料 2 1 – 3 – 2）

◎共通英文誌d09-***

- ・ 論文 d09-*** については、論文の内容としては十分なので、論文のタイトル、abstract の修正を編修長より依頼することになった。

5.5 共通英文誌協議（2）（資料 2 1 – 3 – 3）

◎d09-***

- ・ 論文 d09-*** については、新規性の点で Reject することになった。また、編修長より連絡を入れてもらうことになった。

5.6 異議申し立て再検討（資料 2 1 – 3 – 4）

- ・ B 判定後の修正を適切に行うために、「産業応用部門誌 論文査読マニュアル」に、以下の文章に修正・付記することになった。
 - ・ 「2)の照会後掲載(B 判定)は原則として 1 回のみとする。」
 - ・ 「再査読、追加査読では、第 1 回もしくは第 2 回査読における照会事項に対して、論文修正および回答が適切に行われているかを確認することで判定を行う。」

5.7 論文委員承認（1）（資料 2 1 – 3 – 5）

- ・ 論文委員に推薦。特に問題なし。

5.8 論文委員承認（2）（資料 2 1 – 3 – 6）

- ・ 論文委員に推薦。特に問題なし。

5.9 特集論文手続き再検討（資料 2 1 – 3 – 7）

- ・ 編修長補佐の業務多忙により、特集論文の事務手続きのうち、これまで編修長補佐が行ってきた機能（研究調査運営委員会に企画依頼、等々）を、D3 副主査が行うことになった。
- ・ これに伴い、半導体変換の特集論文の募集を毎年行っており、その企画書の提出、ゲストエディタの選定等を、そろそろ行わなければならない時期になっているので、D1 より、該当委員長に連絡することになった。

5.10 共通英文誌特集号（D 部門担当）（資料 2 1 – 4 – 4）

- ・ 「2」の執筆者に急いで執筆していただくことになった。
- ・ 他は順調に進捗している。

- 5.11 2010年3月特集号(モーションコントロール、計測・センサ応用全般)進捗報告 (資料21-4-5)
・ 柴田先生が欠席のため、大石委員長が報告を行った。2010年3月(モーションコントロール、計測・センサ応用全般)の特集論文では、A:14件、B:3件で、十分特集号となるとの判断であった。分厚くなりすぎないか、との心配が出されたが、過去にも17件の特集号があり、問題ないということになった。
- 5.12 LDIA2009論文の電気学会誌への論文投稿についての問い合わせ (資料21-4-6)
・ 事務局へ、海外からメールでの問い合わせが来た。「LDIA-2009(韓国での開催)において、電気学会への投稿は無料で受け付ける旨のアナウンスがあったが間違いないか?」という内容である。LDIA-2009の論文委員会委員長に問い合わせることとした。
6. 次回開催予定
・ 日時: 12月15日(火) 13:30から15:00
・ 場所: 自動車会館2階小会議室
<http://www2.iee.or.jp/ver2/honbu/11-aboutus/map01.html>

以上